

FU プラグイン⁺ Plus

Googleスプレッドシート取込プラグイン ご利用手引書

第1版



Powered by kintone



キャップクラウド株式会社
クラウドインテグレーション事業部

ご利用手引書リリース履歴

リリース日	版情報	製品Ver.情報
2026/06/12	第1版	v1.0.0

1. プラグイン概要	… P4
2. Google 連携設定	… P5~13
3. プラグイン設定方法	… P14~23
4. プラグイン設定運用環境反映	… P24~25
5. プラグイン利用手順	… P26~29
6. 設定内容のインポートとエクスポート	… P30
7. 使用上のご注意	… P31~34

Googleスプレッドシートのレコードをkintoneに取り込むことができます。2回目以降の取込では、プラグイン設定画面で指定したキー項目に従いデータ更新を実行します。キーに該当するデータがない場合は、レコードを追加で取り込みます。

<操作イメージ>

プラグイン適用アプリで一括取込を実行

一括取込

レコード番号	更新者	作成者	更新日時	作成日時	会社名	部署名	担当者名	郵便番号(数字のみ)	住所	TEL(数字のみ)	FAX(数字のみ)	メールアドレス	会社ロゴ	備考	顧客ランク	ラジオボタン	チェック
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
21																	
22																	
23																	
24																	
25																	
26																	
27																	
28																	
29																	
30																	
31																	
32																	
33																	
34																	
35																	
36																	
37																	
38																	
39																	
40																	
41																	
42																	
43																	
44																	
45																	
46																	
47																	
48																	
49																	
50																	



一括取込確認

以下の変更を実行します:
追加: 7206件
実行しますか?

キャンセル OK



スプレッドシート内のレコードがアプリに取り込まれる

レコード番号	更新者	作成者	更新日時	作成日時	会社名	部署名	担当者名	郵便番号(数字のみ)	住所	TEL(数字のみ)	FAX(数字のみ)	メールアドレス	会社ロゴ	備考
167890	管理者	管理者	2026-04-17 11:32	2026-04-17 11:32	有限...	開発...	川崎 文史	3200001	栃...	92-xxxx-xx	50-xxxx-xx	kawasaki_tak...		
167889	管理者	管理者	2026-04-17 11:32	2026-04-17 11:32	有限...	開発...	川崎 文史	3200001	栃...	92-xxxx-xx	50-xxxx-xx	kawasaki_tak...		
167888	管理者	管理者	2026-04-17 11:32	2026-04-17 11:32	有限...	開発...	川崎 文史	3200001	栃...	92-xxxx-xx	50-xxxx-xx	kawasaki_tak...		
167887	管理者	管理者	2026-04-17 11:32	2026-04-17 11:32	有限...	開発...	川崎 文史	3200001	栃...	92-xxxx-xx	50-xxxx-xx	kawasaki_tak...		
167886	管理者	管理者	2026-04-17 11:32	2026-04-17 11:32	有限...	開発...	川崎 文史	3200001	栃...	92-xxxx-xx	50-xxxx-xx	kawasaki_tak...		
167885	管理者	管理者	2026-04-17 11:32	2026-04-17 11:32	有限...	開発...	川崎 文史	3200001	栃...	92-xxxx-xx	50-xxxx-xx	kawasaki_tak...		
167884	管理者	管理者	2026-04-17 11:32	2026-04-17 11:32	有限...	開発...	川崎 文史	3200001	栃...	92-xxxx-xx	50-xxxx-xx	kawasaki_tak...		
167883	管理者	管理者	2026-04-17 11:32	2026-04-17 11:32	有限...	開発...	川崎 文史	3200001	栃...	92-xxxx-xx	50-xxxx-xx	kawasaki_tak...		
167882	管理者	管理者	2026-04-17 11:32	2026-04-17 11:32	有限...	開発...	川崎 文史	3200001	栃...	92-xxxx-xx	50-xxxx-xx	kawasaki_tak...		
167881	管理者	管理者	2026-04-17 11:32	2026-04-17 11:32	有限...	開発...	川崎 文史	3200001	栃...	92-xxxx-xx	50-xxxx-xx	kawasaki_tak...		

・Google Cloud Platformにログイン

本プラグインの設定前に、Google側で連携設定を行う必要があります。
Googleアカウントをご用意の上、下記手順で設定してください。

【関連動画】
[【Google連携設定手順】Googleスプレッドシート出力プラグイン](#)

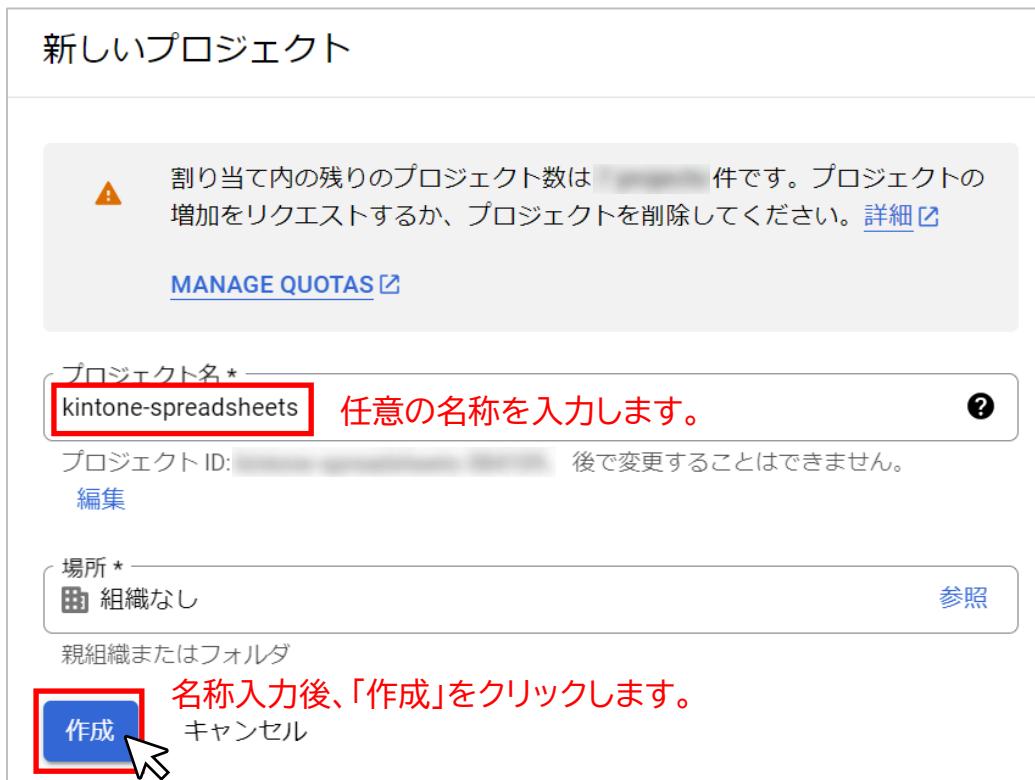
〈STEP1〉[Google Cloud Platform](#)を開き、Googleアカウントでログインします。

▼ログイン後 画面イメージ

The screenshot displays the Google Cloud Platform console interface. At the top, there is a navigation bar with the Google Cloud logo, the project name 'My First Project', and a search bar. Below the navigation bar, the main content area is titled 'API とサービス' (API and Services). On the left, there is a sidebar menu with options like '有効な API とサービス' (Active APIs and Services), 'ライブラリ' (Library), '認証情報' (Credentials), 'OAuth 同意画面' (OAuth Consent Screen), and 'ページの使用に関する契約' (Agreements for Page Usage). The main content area shows a grid of service status cards. The top row includes 'トラフィック' (Traffic) and 'エラー' (Errors). The bottom row includes '中央値のレイテンシ' (Median Latency). Each card displays a warning icon and the message '選択した時間枠で使用できるデータがありません。' (No data is available for the selected time range). The time range is set to '1日' (1 day). The x-axis of the charts shows the date '4月18日' (April 18th) and times '6:00' and '12:00'.

- ・新しいプロジェクトの作成
- ・プロジェクト名の入力

〈STEP2〉新しいプロジェクトを作成します。

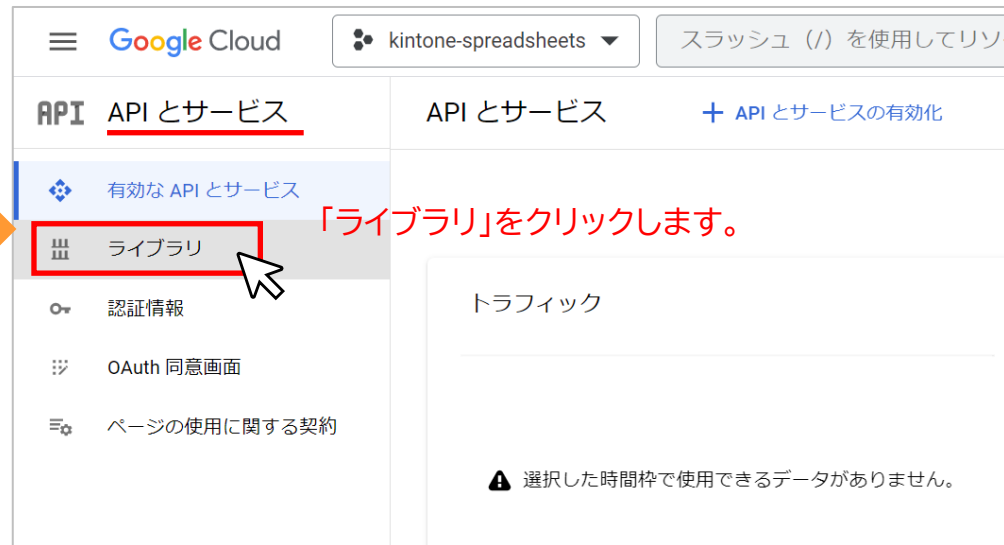


・Google Sheets APIの有効化

〈STEP3〉P6で作成したプロジェクトを開きます。



〈STEP4〉「APIとサービス」タブ内の「ライブラリ」を開きます。

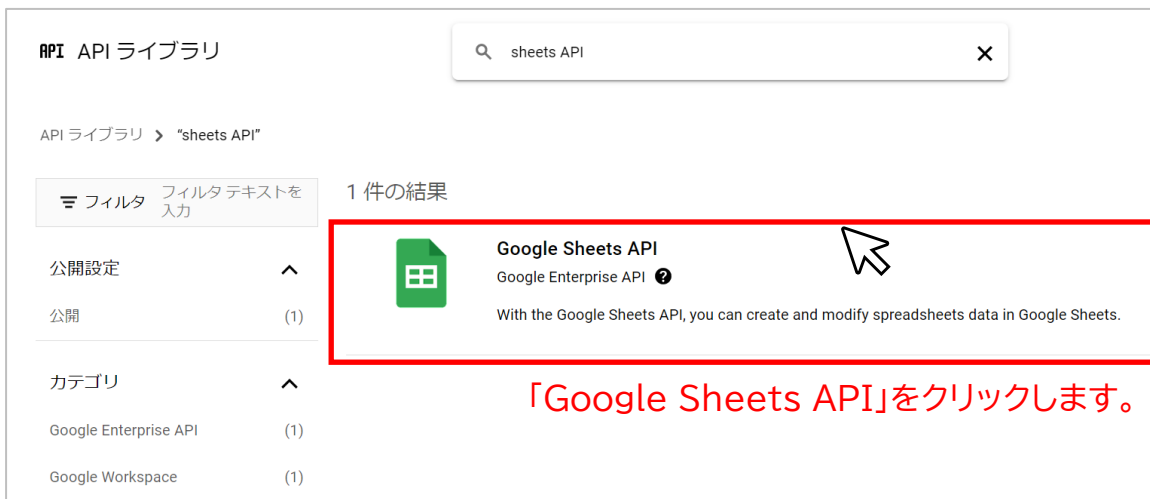


・Google Sheets APIの有効化(続き)

〈STEP5〉検索ボックスに「sheets API」と入力して検索します。



〈STEP6〉「Google Sheets API」を有効にします。



・OAuth同意画面の設定

〈STEP7〉「APIとサービス」タブ内の「OAuth同意画面」を開きます。

Google Cloud kintone-spreadsheets

スラッシュ (/) を使用してリソース、ド

API API とサービス

← API / サービスの詳細 API を無効にする

有効な API とサービス

ライブラリ

認証情報

OAuth 同意画面

ページの使用に関する契約

To use this API, you may need credentials.

Google Sheets API
Reads and writes Google Sheets.

所有者: Google Enterprise API

サービス名	タイプ	ステータス
sheets.googleapis.com	公開 API	有効

〈STEP8〉Google Auth Platformで認証情報の管理を開始します。

Google Auth Platform / 概要

概要

OAuth の概要

ブランディング

対象

クライアント

データアクセス

検証センター

Google Auth Platform はまだ構成されていません
アプリケーションの ID を構成すること、および Google API の呼び出しと Google でログインのための認証情報を管理することを開始します。 [詳細](#)

開始

「開始」をクリックします。

・OAuth同意画面の設定(続き)

〈STEP9〉プロジェクト構成の設定画面で「アプリ情報」を設定します。
※「アプリのロゴ」「アプリのドメイン」の設定は任意です。

プロジェクト構成

1 アプリ情報

アプリ名*
スプレッドシート連携 **任意のアプリ名を入力します。**

同意を求めるアプリの名前

ユーザー サポートメール*
focusu.trial.sv@gmail.com **メールアドレスを選択します。**

同意に関して問い合わせる際に使用します。 [詳細](#)

次へ 「次へ」をクリックします。

〈STEP10〉「対象」を設定します。

2 対象

内部 [?](#)

組織内のユーザーのみが使用できます。確認を受けるためにアプリを送信する必要はありません。 [ユーザーの種類の詳細](#)

外部 [?](#)

Google アカウントを持つすべてのテストユーザーが使用できます。アプリはテストモードで起動し、アプリを使用できるのは、テストユーザーのリストに追加されたユーザーに限られます。アプリを本番環境に移す準備ができれば、アプリの確認が必要となる場合があります。 [ユーザーの種類の詳細](#)

次へ 「次へ」をクリックします。

〈STEP11〉「連絡先情報」を設定します。

3 連絡先情報 **メールアドレスを入力します。**

メールアドレス*
focusu.trial.sv@gmail.com

これらのメールアドレスは、プロジェクトの変更について Google からお知らせするために使用します。

次へ 「次へ」をクリックします。

〈STEP12〉ユーザーデータに関するポリシーに同意します。

4 終了 **チェックをつけます。**

[Google API サービス: ユーザーデータに関するポリシー](#) に同意します。

続行

作成 [キャンセル](#)

作成 「作成」をクリックします。

【参考】対象について

対象は、利用状況に応じて選択してください。

(社内利用の場合は「内部」、社外との共有に利用する場合は「外部」など) 基本的には「内部」を推奨しますが、アプリ利用者に組織外のユーザーがいる場合は「外部」をご設定ください。

※詳細は[こちら](#)(Google Cloud Platform Consoleヘルプ)

・OAuth同意画面の設定(続き)

<STEP13>「Google Auth Platform」タブ内の「ブランディング」を開きます。

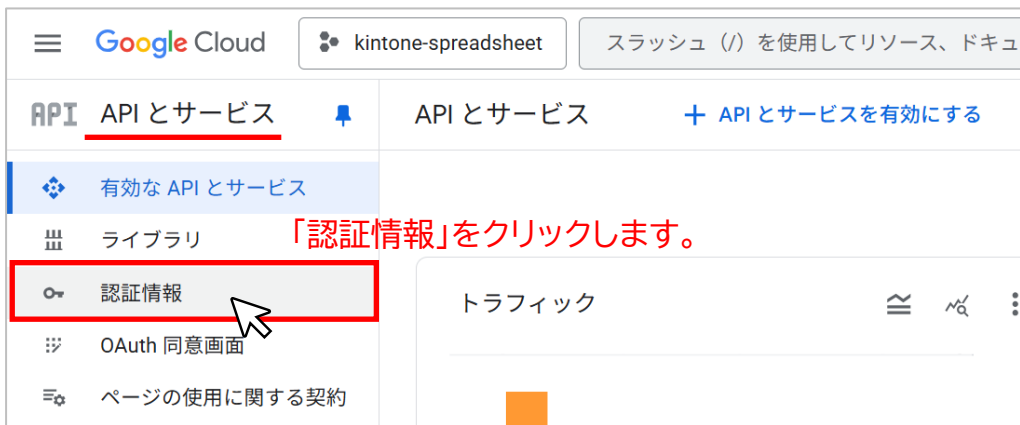
<STEP14>「承認済みドメイン」を設定します。



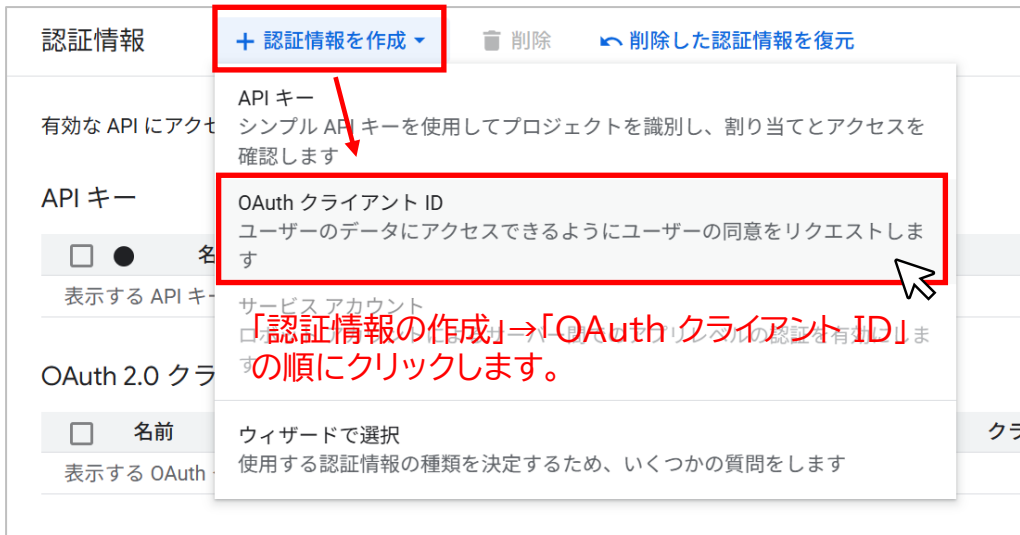
【参考】「アプリのロゴ」「アプリのドメイン」の設定は任意です。

・OAuth クライアントID の発行

〈STEP15〉「APIとサービス」タブ内の「認証情報」を開きます。



〈STEP16〉OAuth クライアントIDを作成します。



発行後は、このようなポップアップが表示されます。

OAuth クライアントを作成しました

クライアントIDとシークレットには、常にAPIとサービスの認証情報からアクセスできます。

← OAuth クライアント ID の作成

アプリケーションの種類* **「ウェブ アプリケーション」を選択します。**
ウェブアプリケーション 選択後に以下の設定欄が表示されます。

名前* **任意の名称を入力します。**
kintone

OAuth 2.0 クライアントの名前。この名前はコンソールでクライアントを識別するためにのみ使用され、エンドユーザーには表示されません。

❗ 下で追加する URI のドメインは、[OAuth 同意画面に承認済みドメイン](#)として自動で追加されます。

承認済みの JavaScript 生成元 ?

ブラウザからのリクエストに使用します

プラグインを利用するkintone環境のURLを入力します。

URI 1*
https://XXXXX.cybozu.com

+ URI を追加

承認済みのリダイレクト URI ?

ウェブサーバーからのリクエストに使用します

+ URI を追加 承認済みのリダイレクトURLの設定は任意です。

注: 設定が有効になるまで 5 分から数時間かかることがあります

「作成」をクリックします。
作成 キャンセル クリック後、クライアントIDが発行されます。

・APIキーの発行

〈STEP17〉APIキーを作成します。

認証情報

+ 認証情報を作成

削除 削除した認証情報を復元

有効な API にアクセスするための認証情報を作成します。 [詳細](#)

API キー

OAuth クライアント ID

API キー

シンプル API キーを使用してプロジェクトを識別し、割り当てとアクセスを確認します

OAuth クライアント ID

サービス アカウント

ロボット アカウントによるサーバー間でのアプリレベルの認証を有効にします

ウィザードで選択

使用する認証情報の種類を決定するため、いくつかの質問をします

名前 ↑

「認証情報の作成」→「APIキー」の順にクリックします。
クリック後、APIキーが発行されます。

作成後は、このようなポップアップが表示されます。

API キーを作成しました

アプリケーション内で使用するには、このキーを `key=API_KEY` パラメータとして...

【参考】発行済みの「OAuth クライアントID」「APIキー」は、認証情報から確認できます。

API API とサービス

認証情報

+ 認証情報を作成

削除 削除した認証情報を復元

有効な API とサービス

ライブラリ

認証情報

OAuth 同意画面

ページの使用に関する契約

有効な API にアクセスするための認証情報を作成します。 [詳細](#)

API キー

名前	作成日 ↓	制限	操作
API キー 1	2025/08/19	-	鍵を表示します

OAuth 2.0 クライアント ID

名前	作成日 ↓	種類	クライアント ID	操作
kintone	2025/08/19	ウェブ アプリケーション	...	

・アプリにプラグインを追加

プラグインインストール後の設定方法を記載しております。
プラグインのインストール方法がご不明な場合は、下記をご参照ください。
https://jp.cybozu.help/k/ja/id/0408.html#add_plugin_plugin_10

<STEP1>アプリの一覧画面からプラグイン設定画面を開きます。



<STEP2>「追加する」をクリックします。



<STEP3>「Googleスプレッドシート取込プラグイン」にチェックを入れ、画面右下の「追加」をクリックします。



<STEP4>設定「⚙️」マークをクリックします。



<STEP5>プラグインの設定画面が表示されます。



- ・ライセンスキーの設定
- ・GoogleAPIkey、クライアントIDの設定

〈STEP6〉 Google 連携設定8、9(P12~13)で発行したAPIキーとOAuth2.0 クライアントIDを入力します。

ライセンスキー

ライセンスキーを入力します。
※ライセンスキーは別途ご案内します

基本設定項目

GoogleAPIKey* 「APIキー」を入力します。

クライアントID* 「OAuth クライアントID」を入力します。

スプレッドシート番号*

キー項目選択 (kintone) *

API API とサービス

認証情報 + 認証情報を作成 削除 削除した認証情報を復元

有効な API とサービス

ライブラリ

認証情報

OAuth 同意画面

ページの使用に関する契約

有効な API にアクセスするための認証情報を作成します。 [詳細](#)

API キー

<input type="checkbox"/>	名前	作成日 ↓	制限	操作
<input type="checkbox"/>	API キー 1	2025/08/19	-	鍵を表示します

OAuth 2.0 クライアント ID

<input type="checkbox"/>	名前	作成日 ↓	種類	クライアント ID	操作
<input type="checkbox"/>	kintone	2025/08/19	ウェブ アプリケーション	...	

・スプレッドシート番号の設定

〈STEP7〉kintoneに取り込むスプレッドシートを設定します。

基本設定項目

GoogleAPIKey*

クライアントID*

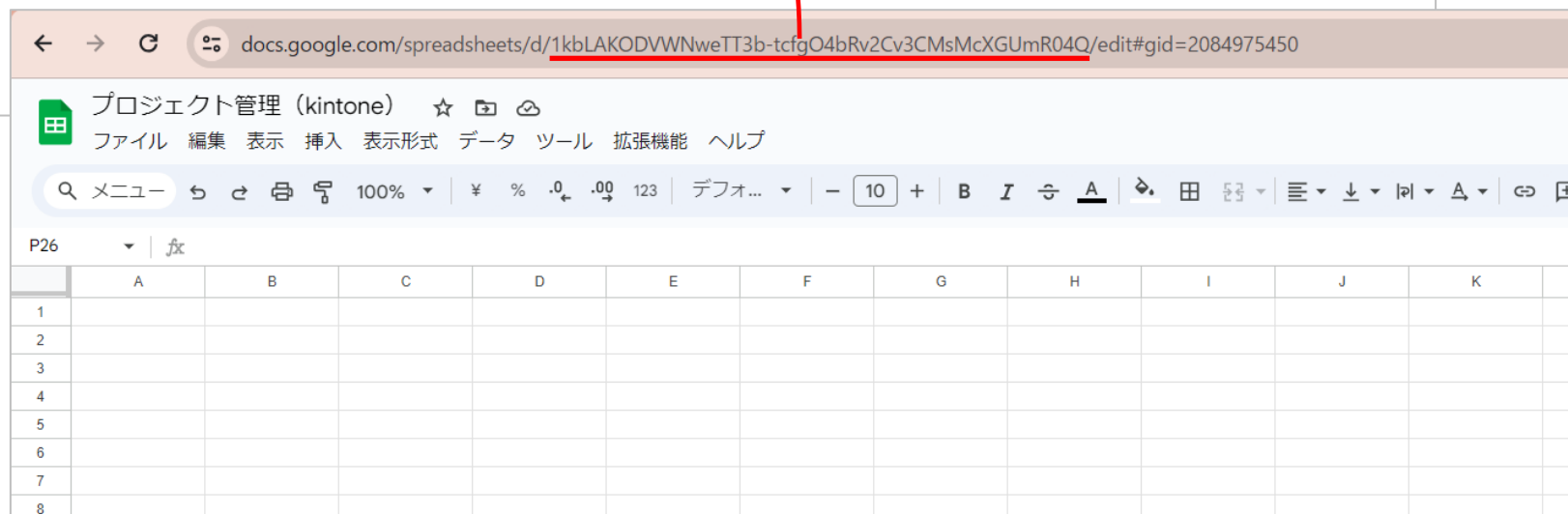
スプレッドシート番号*

キー項目選択 (kintone) *

キー列選択 (spreadSheet) *

グルーピング項目選択

取込先とするスプレッドシートのURLの「d/」と「/edit」の間の値を入力します。



・キー項目の設定

〈STEP8〉キー項目選択(kintone)を設定します。
 ここで指定したフィールドの値をキーにして、既にkintoneアプリ上にデータを取り込んでいる場合は更新処理を行います。
 データが存在しない場合は新規追加処理を行います。

スプレッドシート番号*

キー項目選択 (kintone) *

キー列選択 (spreadSheet) *
 ※キー列は後から設定します。

グルーピング項目選択

得意先コード

リンク

レコード番号

キーに利用するフィールドをプルダウンから選択します。
 フィールド名を直接入力して検索することもできます。

【ご注意】キー項目について

重複不可の設定をしているフィールドのみ対応しています。
 “値の重複を禁止する”設定をしていない場合、プルダウンにフィールドが表示されませんので、ご注意ください。

レコード番号を選択した場合の注意

フォーム内にレコード番号を配置している場合は、レコード番号もプルダウンに表示されます。
 ただし、レコード番号はkintoneアプリにレコードを取り込むたびにカウントアップされていくため、キー項目としては実質利用できませんのでご注意ください。(※レコード番号をキーに選択した場合は、結果的に新規追加処理となります。)

一覧	グラフ	設定
レコード番号 * (自動入力)	作成者 * (自動入力)	作成日時 * (自動入力)

文字列 (1行) の設定

? ヘルプ

フィールド名 *

得意先コード

フィールド名を表示しない

自動計算する

必須項目にする

値の重複を禁止する

・グルーピング項目の設定(任意)

〈STEP9〉グルーピング項目選択を設定します。

グルーピング項目を設定することで、複数に作成されたスプレッドシートを1つのアプリに集約して取り込みます。スプレッドシートの各シート名と、グルーピング項目の値が必ず一致している必要があります。

キー列選択 (spreadSheet) *

※キー列は後から設定します。

グルーピング項目選択

グルーピングの条件として利用するフィールドをプルダウンから選択します。フィールド名を直接入力して検索することもできます。

Google認証ボタン表示
ユーザー選択

一括取込ボタン表示
ユーザー選択

【参考】グルーピング項目選択時の取込対象のシート(詳細はP27参照)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	得意先コード	得意先名	支社	住所1	所属部署	役職	得意先コード	顧客ランク	会社TEL	郵便番号
2	C0000000063	キャップ 横浜	横浜支社				C0000000063	A		
3	C0000000062	キャップ 山梨	山梨支社				C0000000062	A		
4	C0000000061	キャップ	本社				C0000000061	A		
5	C0000000053	安田電器	本社	東京都渋谷区	営管理部	一般	C0000000053	A	03-1234-XXXX	1500001
6	F003002	株式会社 藤田	株式会社 藤田	大阪府大阪市中央区平野町6丁		支社長	F003002	A	06-7861-4611	
7	F003001	株式会社 藤田	株式会社 藤田	東京都港区元赤		営業本部 本部長	F003001	A	03-9541-0357	
8	H001	株式会社 畠山	株式会社 畠山	東京都千代田区大手町5丁目30		代表	H001	A	03-7319-8426	
9	N001	長島商事株式会社	長島商事株式会社	東京都城都市本町2-8-45			N001	A	03-6824-1235	123-****
10	T006	株式会社 千代*	株式会社 千代*	福岡県福岡市南区玉川町4丁目20-40			T006	A	092-7134-1147	
11	T002	高橋物産株式会社	高橋物産株式会社	大阪府大阪市東区		商品企画部	T002	A	06-4876-2301	
12	T001	合同会社 たか	合同会社 たか	愛知県名古屋市中区		駒取通7丁目33-44	T001	A	052-234-4683	

取込対象のシート

グルーピング項目選択で「顧客ランク」を選択した場合、項目の値に「A」「B」「C」「D」「E」「S」がある場合、それぞれの値ごとにまとめられたA～Sシートを取り込むことができます。「項目の値」と「シート名」が一致しているシートが取込の対象となります。

【ご注意】グルーピング項目について一部ご利用いただけないフィールドタイプがございます。詳細は「使用上の注意」をご参照ください。(P31参照)

・各ボタン表示ユーザーの設定

〈STEP10〉Google認証ボタン・一括取込ボタンを表示するユーザーを設定します。
ここで選択したユーザーにのみ各ボタンを表示することで、実行を制限できます。

Google認証ボタン表示
ユーザー選択

ユーザーを入力

選択

枠内にユーザーの表示名もしくはログイン名を入力し、
目当てのユーザーをクリックして選択します。

管理者 ×

「選択」ボタンをクリックして、
組織やグループ情報から
ユーザーを選択することも
できます。

一括取込ボタン表示
ユーザー選択

ユーザーを入力

選択

管理者 ×

選択したユーザーが表示されます。
「×」ボタンでユーザーを削除できます。



【参考】レコード一覧画面

▼両方のボタンを表示

数値1	テスト数値2	得意先コード	得意先名	グループ選択	取引種別	重複不可日付	重
	72	A004	阿部商事株式会社		特約店	2024-02-11	20
	37	N001	長島商事株式会社		ユーザー	2024-02-12	20

▼Google認証ボタンのみ表示

別	得意先コード	得意先名	支社	住所 1	会社メ
	A001	愛知マート株式会社	愛知マート 株式会社	愛知県名古屋市中区錦X-X-XX	aichi@e
	A003	厚木産業 株式会社	厚木産業 株式会社	神奈川県厚木市葉山X-XX-XX	samplec

・スプレッドシートとフィールド項目の設定

〈STEP11〉取り込む対象とするスプレッドシート列とkintoneフィールドのマッピングを行います。
左側の「kintoneフィールド」を右側の「Googleスプレッドシート列へマッピング」欄の枠内にドラッグ&ドロップしてマッピングします。

スプレッドシートとフィールド項目を設定

各ボタンについては次ページ(P21参照)

スプレッドシートに一括セット スプレッドシート列クリア 5 | ▾ 追加 5 | ▾ 削除

kintoneフィールド	Googleスプレッドシート列へマッピング
フィールドの検索	フィールドの検索
得意先コード (customerCode)	A 得意先コード (customerCode) ⊗ + -
得意先名 (customerName)	B 得意先名 (customerName) ⊗ + -
支社 (branchOffice)	C 支社 (branchOffice) + -
カナ索引 (kanaIndex)	D + -
顧客ランク (rank)	E + -
取引種別 (tradingType)	F + -
敬称 (keisyo)	
チェックボックス (チェックボックス)	
複数選択 (複数選択)	
リード会社コード (leadCompanyCode)	
会計共通コード (parentCompanyCode)	

フィールド名を直接入力して検索できます。

「×」ボタンでフィールドを削除できます。

【参考】列のアルファベット部分をダブルクリックすると、その列が画面中央に位置して表示されます。フィールド検索から列移動に便利です。

「+」「-」ボタンで行を増減します。

【参考】F11キー押下で全画面表示

【ご注意】

- ・キー項目がスプレッドシートのいずれかの列に存在していないと、更新取込はできません。P17で選択したキー項目を必ず設定してください。
- ・取込先として選択可能なスプレッドシートの列はAからZZZ列までとなります。
- ・同じフィールドを複数の列にマッピングした場合、該当のスプレッドシート列同士の値が同じでないとエラーとなり処理が中止します。

・スプレッドシートとフィールド項目の設定

〈STEP11〉続き 取り込む対象とするスプレッドシート列とkintoneフィールドのマッピングを行います。

kintoneフィールド欄の全てのフィールドをGoogleスプレッドシート列に一括でセットします。

Googleスプレッドシート列の枠内に登録済のフィールドをすべて削除します。

スプレッドシートに一括セット

スプレッドシート列クリア

5 追加

5 削除

5

10

15

20

kintoneフィールド

フィールドの検索

得意先コード (customerCode)

得意先名 (customerName)

支社 (branchOffice)

カナ索引 (kanaIndex)

顧客ランク (rank)

取引種別 (tradingType)

敬称 (keisyo)

チェックボックス (チェックボックス)

複数選択 (複数選択)

リード会社コード (leadCompanyCode)

会計共通コード (parentCompanyCode)

自社部門名 (bumonName)

社員コード (employeeCode)

姓(J) (familyName)

名(J) (firstName)

Googleスプレッドシート列へマッピング

フィールドの検索

A 得意先コード (customerCode)

B 得意先名 (customerName)

C 支社 (branchOffice)

D 顧客ランク (rank)

E 取引種別 (tradingType)

F 取引開始日 (日付)

G 担当者名 (repName)

H

I 担当TEL (repTelNo)

J 担当メールアドレス (repMail)

「Googleスプレッドシート列」欄の枠を追加・削除できます。
追加:プルダウンで選択した数の空の枠を最下部に追加
削除:プルダウンで選択した数の枠を最下部から順に削除

【ご注意】枠の削除について
削除の場合、フィールドを設定済みの枠も削除されます。
フィールドを設定済みの場合は、操作にご注意ください。

【ご注意】空の列について
スプレッドシート列に対し、kintoneフィールドを当て込まない「空の列」の設定も可能ですが、この場合は“空”データとして取り込みを行います。
既にkintone側にデータが存在している場合は“空”データとして更新されますので、更新取込にはご注意ください。

・キー列の設定

〈STEP12〉キー列選択(spreadSheet) を設定します。
P20のマッピングをもとに、キー項目にするスプレッドシートの列を設定します。

キー項目選択 (kintone) *

キー列選択 (spreadSheet) *

グループ項目選択

「V」ボタンをクリックし、キー列を選択します。
キー項目に選択したフィールドを設置した列のみが絞り込まれて表示されます。

Google認証ボタン表示
ユーザー選択

一括取込ボタン表示
ユーザー選択

【注意】

同じキー項目を複数の列に設置している場合、プルダウンに複数の選択肢が表示されます。
更新キーとして利用したい方の列を選択してください。
(選択していない列の値はキーとして扱われません。)

基本設定項目の注意点

・キー項目選択 (kintone) はレコード番号、もしくは重複不可の設定をしているフィールドになります。

・テンプレート出力(補助機能)

〈STEP13〉「テンプレート出力」ボタンを押して、マッピングのテンプレートをスプレッドシートに出力することができます。プラグイン設定画面「保存」前のマッピング情報は出力されません。

テンプレート出力

テンプレート出力



テンプレート出力確認

保存済みのマッピング設定をもとに、Googleスプレッドシートへテンプレートシートを作成します。未保存の変更は反映されません。

キャンセル

OK



	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	得意先コード	レコード番号	会社名	ルックアップ	顧客ランク	部署名	担当者名	TEL(数字のみ)	FAX(数字のみ)
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									

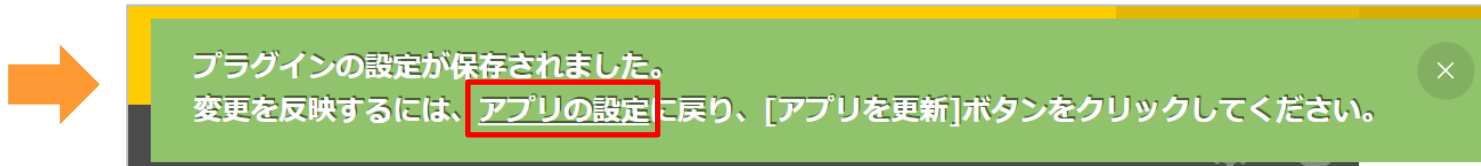
template

プラグイン設定は設定画面で設定内容を保存した後、アプリ設定画面で「アプリを更新」を押す事で運用環境に設定内容が反映します。

<STEP1>プラグイン設定画面で「保存」をクリックします。



<STEP2>表示されたダイアログの「アプリの設定」をクリックします。



<STEP3>「アプリを更新」をクリックします。



<STEP4>一覧画面上部に、「Google認証」「一括取込」の2つのボタンが表示されていることを確認します。

The screenshot shows the Kintone application interface. At the top, there is a yellow header with the 'kintone' logo on the left and a user profile '管理者' on the right. Below the header is a dark navigation bar with icons for home, notifications (90), and search. The main content area has a title bar '[スプレッドシート取込] 顧客リスト' and a breadcrumb trail 'スペース: Googleスプレッドシート取込プラグイン > アプリ: [スプレッドシート取込] 顧客リスト'. In the toolbar, there are buttons for '一覧ALL', 'AI レコードを分析', 'Google認証', and '一括取込'. The 'Google認証' and '一括取込' buttons are highlighted with a red rectangular box. Below the toolbar, there is a table header with columns: 'レコード番号', '更新者', '作成者', '更新日時', '作成日時', '会社名', '部署名', '担当者名', '郵便番号(数字のみ)', '住所', 'TEL(数字のみ)', 'FAX(数字のみ)', 'メールアドレス', '会社ロゴ', '備考', '顧客ランク', 'ラジオボタン', and 'チェ'. The table body is empty, displaying the message 'データがありません。' and '0 - 0 (0件中)'.

・Google認証の実行

<STEP1>Googleアカウントを使ってGoogle認証をします。

「Google認証」をクリックします。

レコード番号	更新者	作成者	更新日時	作成日時	会社名	部署名	担当者名	郵便番号(数字のみ)	住所	TEL(数字のみ)	FAX(数字のみ)
データがありません。											

▼Google認証画面イメージ

【ご注意】Google認証について

Google認証の無効化および継続処理は以下の通りです。

- ・最後の処理から1時間経過、またはブラウザ(タブ)を閉じる、と認証が無効化されます。
- ・Google認証セッション切れが発生した場合、再認証後に処理を継続します。

操作途中で認証切れが発生した場合はダイアログで通知されますので、再度認証を行ってください。認証後処理を再開します。

【ご確認】認証が無効化すると「Google認証」ボタンが青色に表示されます。

▼「Google認証」が無効化した状態

▼「Google認証」が有効な状態

・スプレッドシートのレコードをkintoneアプリに一括取込

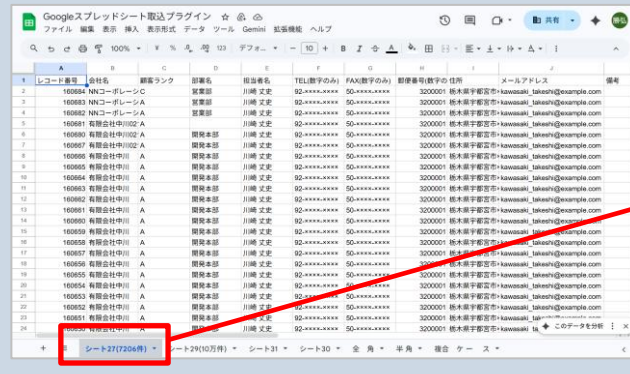
<STEP2>スプレッドシートのレコードをプラグインを設置したアプリ内へ一括取り込みします。

グルーピング項目を利用していない場合：アプリ内に全レコードを一括取り込みします。

出力内容を確認し、
「OK」をクリックします。



【ご注意】取り込むスプレッドシートの位置
指定したスプレッドシート番号内にあるシートのうち、
一番左に位置するシートのデータが取り込み対象となります。
「一括取込」ボタンを押す前に、シートのご確認ください。
※目次などの既存シートを一番左に配置しないようご注意ください。
※グルーピング項目の選択時は異なります。(P28参照)



一番左のシートが取込対象

レコード番号	更新者	作成者	更新日時	作成日時	会社名	部署名	担当者名	郵便番号(数字のみ)	住所	TEL(数字のみ)	FAX(数字のみ)	メールアドレス	会社口	備考
175096	管理者	管理者	2026-04-17 16:42	2026-04-17 16:42	有限...	開発...	川崎 丈史	3200001	橋...	92-xxxx-x...	50-xxxx-x...	kawasaki_tak...		
175095	管理者	管理者	2026-04-17 16:42	2026-04-17 16:42	有限...	開発...	川崎 丈史	3200001	橋...	92-xxxx-x...	50-xxxx-x...	kawasaki_tak...		
175094	管理者	管理者	2026-04-17 16:42	2026-04-17 16:42	有限...	開発...	川崎 丈史	3200001	橋...	92-xxxx-x...	50-xxxx-x...	kawasaki_tak...		

kintoneにスプレッドシートのレコードが一括登録されます。

・アプリの全レコードのデータをスプレッドシートに一括取込

<STEP2>続き 複数のスプレッドシートをグルーピング取込機能を使ってアプリ内へ一括取り込みします。

グルーピング項目を利用している場合：グルーピング項目を選択している場合は、グルーピング項目の値と同名のシート(複数)を取り込みます。

キー項目選択 (kintone) * 得意先コード x v

キー列選択 (spreadSheet) * A x v

グルーピング項目選択 顧客ランク x v



プラグイン設定画面で「グルーピング項目選択」を選択している場合は、一括取込ボタンを押すとグルーピングシートの取込が実行されます。
※通常の一括取込にはグルーピング項目の選択を外してください。

「一括取込」ボタンで取込を実行すると、取込対象シートの合計件数が表示されます。一方、項目の値と一致するシート名がない場合は、取込エラーが表示されます。



【グルーピング取込のシートについて】

「顧客ランク」を例にしたグルーピングシートの作り方です。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	得意先コード	得意先名	支社	住所1	所属部署	役職	得意先コード	顧客ランク	会社TEL	郵便番号
2	C0000000063	キャップ 横浜	横浜支				00063	A		
3	C0000000062	キャップ 山梨	山梨支				00062	A		
4	C0000000061	キャップ	本社				00061	A		
5	C0000000053	安田電器	本社				00053	A	03-1234-XXXX	1500001
6	F003002	株式会社 藤田	株式会社 藤田	大阪府大阪市中央区平野町6丁	支社長		F003002	A	06-7861-4611	
7	F003001	株式会社 藤田	株式会社 藤田	東京都港区元赤	営業本部 本部長		F003001	A	03-9541-0357	
8	H001	株式会社 島山	株式会社 島山	東京都千代田区大手町5丁目30	代表		H001	A	03-7319-8426	
9	N001	長島商事株式会社	長島商事株式会社	東京都城西市本町2-8-4	5		N001	A	03-6824-1235	123-****
10	T006	株式会社 千代	株式会社 千代	福岡県福岡市南区玉川町4丁目20	40		T006	A	092-7134-1147	
11	T002	高橋物産株式会社	高橋物産株式会社	大阪府大阪市中央区	商品企画部		T002	A	06-4876-2301	
12	T001	合同会社 たか	合同会社 たか	愛知県名古屋市中区	錦取通7丁目33-44		T001	A	052-234-4683	

シート「A」には顧客ランクがAだけのレコードを用意し、以下B、C…同様。グルーピング内の値すべてのシートを用意する必要はありません。グルーピング項目内の「値」と「シート名」が同じものを判定して取り込みます。

得意先コード	レコード番号	会社名	ルックアップ	顧客ランク	部署名	担 TEL(数字のみ)	FAX(数字のみ)	郵便番号(数字のみ)	住所	メールアドレス	備考	商品名	ラジオボタン
9000	375609	豊田運輸	Z400	C	開発本部	部 92-xxxx-x...	50-xxxx-x...	3200001	橋...	kawasaki_tak...			全角
2	375608	NNコーポレーシ...		B	営業部	川 92-xxxx-x...	50-xxxx-x...	3200001	橋...	kawasaki_tak...			全角
8000	375607	テスト株式会社0...		B	企画部	ば							全角
1	375606	NNコーポレーシ...	Z400	A	営業部	部 92-xxxx-x...	50-xxxx-x...	3200001	橋...	kawasaki_tak...			全角
5	375605	有限会社中川02...		A	開発本部	川 92-xxxx-x...	50-xxxx-x...	3200001	橋...	kawasaki_tak...			全角
6	375604	有限会社中川02...		A	開発本部	川 92-xxxx-x...	50-xxxx-x...	3200001	橋...	kawasaki_tak...			全角
7	375603	有限会社中川		A	開発本部	川 92-xxxx-x...	50-xxxx-x...	3200001	橋...	kawasaki_tak...			全角
8	375602	有限会社中川		A	開発本部	川 92-xxxx-x...	50-xxxx-x...	3200001	橋...	kawasaki_tak...			全角

複数のシートのデータが1つのアプリに取り込まれます。2回目以降の取込では、キー項目で更新処理されます。

【ご注意】

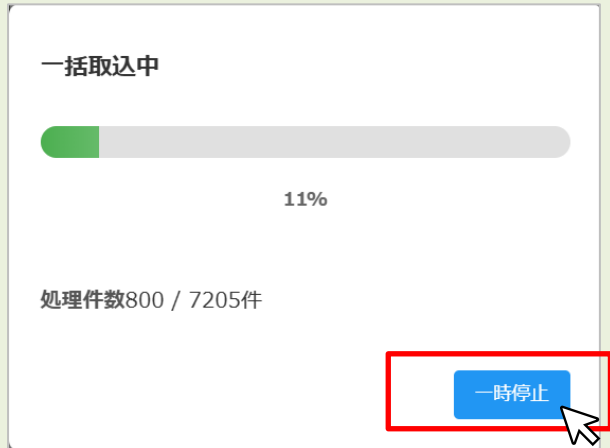
・グルーピング項目に文字列フィールドを選択している場合、シート名との一致の判定に時間がかかります。

・一括取込ボタン押下後のダイアログ表示と動作について

<STEP2> 続き「一括取込ボタン」を押した後、状態に応じて以下のようにダイアログが表示されます。

グルーピング項目設定の有/無 共通：一括取込開始～完了と一時停止、再開、キャンセルの流れ

▼一括取込中



一時停止

再開

▼一時停止中



キャンセル

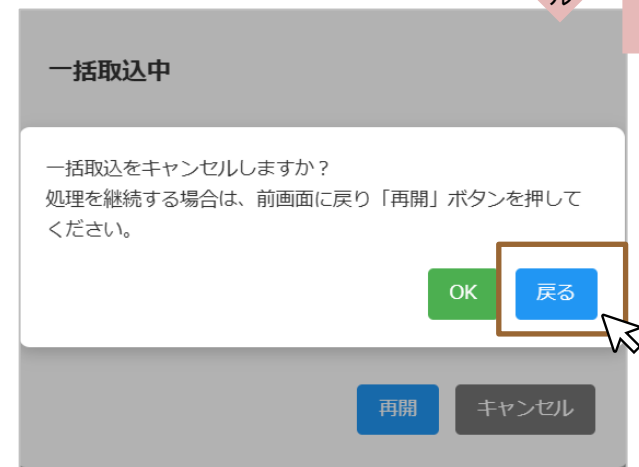
戻る

▼一括取込完了



「OK」ボタンでダイアログ画面を閉じる

▼キャンセル確認



「OK」ボタンで一括取込をキャンセル

設定内容のインポートとエクスポート

プラグイン設定内容をJSON形式ファイルでエクスポートできます。また、JSON形式ファイルをインポートすることで設定内容を読み込み可能です。別アプリにプラグイン設定内容を反映させる場合に利用します。

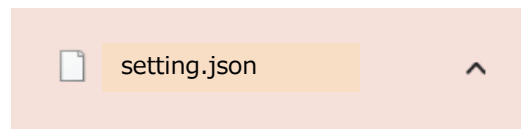
▼設定のエクスポート

データ移行 ▼

ファイルを選択

データ移行欄右のアイコン「>」→「エクスポート」の順にクリックします。

インポート **エクスポート** 旧バージョンから設定を移行



JSONファイルがエクスポートされます。

▼設定のインポート

データ移行

ファイルを選択 **JSONファイルをアップロードし、「インポート」をクリックします。**

× settings.json

インポート エクスポート 旧バージョン



スプレッドシートとフィールド項目を設定 **JSONファイル内の設定内容に上書きされます。**

スプレッドシート一括セット | スプレッドシート列クリア | 5 | 追加 | 5 | 削除

kintoneフィールド	Googleスプレッドシート列マッピング
フィールドの検索	フィールドの検索
得意先コード (customerCode)	A 得意先コード (customerCode) ⊗ + -
得意先名 (customerName)	B 得意先名 (customerName) ⊗ + -
支社 (branchOffice)	
カナ索引 (kanaIndex)	

【ご注意】

データインポート時、プラグインの設定内容は上書きされます。設定済の内容が存在する場合は、操作にご注意ください。

・本プラグインの使用に際しては、以下のような制限事項があります。あらかじめ、これらの点に注意してください。

利用できるkintone のフィールドは以下になります。

フィールド種別	キー項目	グルーピング項目※2	取込フィールド
レコード番号	△※2	×	○
作成者	×	×	○
作成日時	×	×	○
更新者	×	×	○
更新日時	×	×	○
文字列(1行)	○※1	○	○
数値	○※1	×	○
計算	×	×	○
文字列(複数行)	×	×	○
リッチエディター	×	×	×
チェックボックス	×	×	○
ラジオボタン	×	○	○
ドロップダウン	×	○	○
複数選択	×	×	○
ルックアップ (文字列)	×	○	○
ルックアップ (数値)	×	×	○

フィールド種別	キー項目	グルーピング項目※2	取込フィールド
添付ファイル	×	×	×
リンク	○※1	×	○
日付	○※1※3	○	○
時刻	×	×	○
日時	○※1※3	×	○
ユーザー選択	×	×	○
カテゴリー	×	×	×
ステータス	×	×	×
作業者	×	×	×
テーブル	×	×	×
組織選択	×	×	○
グループ選択	×	×	○
関連レコード一覧	×	×	×
グループ	×	×	×
ラベル	×	×	×
スペース	×	×	×
罫線	×	×	×

※1 レコード番号、もしくは重複不可の設定済のフィールドのみ対応

※2 レコード番号はkintoneアプリにレコードを取り込むたびにカウントアップされていくため、キー項目には実質利用できません。

※3 「レコード登録時の日時を初期値にする」にチェックが付いている場合、スプレッドシートからkintoneへの取込時に同じ日付が自動入力されるため、kintoneAPI側から重複エラーが発生します。キー項目に指定する際は、「登録時の日時を初期値にする」チェックを付けずにご利用ください。

・本プラグインの使用に際しては、以下のような制限事項があります。あらかじめ、これらの点に注意してください。

■使用環境の制限

環境	対応	制限事項
モバイル	×	
ゲストスペース	○	
ゲストユーザー	×	
IPアドレス制限環境	○	cybozu.comが使用するIPアドレスを許可している場合は使用可 ※
セキュアアクセスオプション	○	

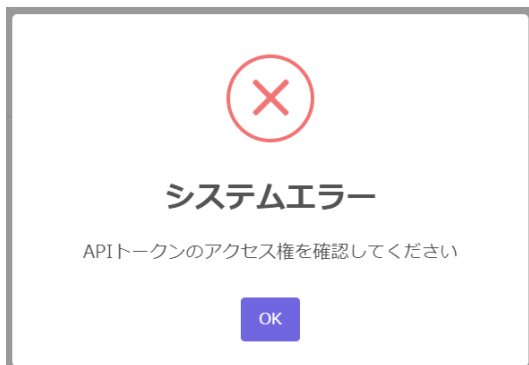
※IPアドレス制限環境での使用について

IPアドレス制限を設定しているkintone環境では、プラグインが正しく動作せず、エラーが発生する可能性があります。cybozu.comが使用するIPアドレスを許可することでアクセス可能となります。

▼cybozu.comヘルプ「cybozu.comが使用するドメインとIPアドレス」

https://jp.cybozu.help/general/ja/admin/outbound_ipaddress.html

▼エラー画面 イメージ



▼IPアドレス制限 設定画面



・本プラグインの使用に際しては、以下のような制限事項があります。あらかじめ、これらの点に注意してください。

■使用環境の制限

・認証に利用したGoogleアカウントが、取込先のスプレッドシートの編集権限を持っていない場合、エラーが生じます。

・セキュアアクセス環境での OAuth クライアント設定(P12)について

セキュアアクセス環境で本プラグインを利用する場合は、OAuth クライアントの「承認済みの JavaScript 生成元」に、通常の kintone環境のURLに加えて、セキュアアクセス環境のURLも追加する必要があります。

例:<https://XXXXX.s.cybozu.com>

・APIキー発行時(P13)の「APIの制限」について

APIキー発行時に「APIの制限の選択」が未選択の状態では保存できない場合は、有効化済みのAPIの中から「Google Sheets API」を選択してください。

・OAuth同意画面の公開ステータスが「テスト中」の場合について

OAuth同意画面の公開ステータスが「テスト中」の場合、Google認証を行えるユーザーは、OAuth同意画面に登録されているテストユーザーに限定されます。そのため、プラグインを利用するユーザーがGoogle認証を行うには、事前にそのユーザーのGoogleアカウントをテストユーザーとして登録する必要があります。

テストユーザーに登録されていない場合、Google認証時にアクセスが制限され、プラグインを利用できない可能性があります。

・本プラグインの使用に際しては、以下のような制限事項があります。あらかじめ、これらの点に注意してください。

■取込に関する注意事項

- ・設定したマッピングの内容と、実際のスプレッドシート列にズレがないようにご注意ください。取り込む値に不備がある場合は、取込確認画面でエラーが表示され処理が実行されません。
- ・同一フィールドを複数マッピングしている場合、スプレッドシートのその対象列どうしの値も完全に一致していることが取込条件となります。1箇所以上で差異があると取込処理は実行されません。
- ・取り込むアプリ内に『日時』、『日付』、『時刻』のいずれかを設置して、「値の重複を禁止する」と「レコード登録時の日時(時刻)を初期値にする」の両方に✓が付いている場合、スプレッドシートからkintoneへの取込時に同じ日付や時刻が自動入力されるため、kintoneAPI側から重複エラーが発生し取込ができません。どちらか一方の✓を外すことでエラーが解消されます。これはプラグイン側のマッピング有無に関係なく発生いたします。

■その他の制限

- ・本プラグインではアプリのレコード件数に応じて、一括取込完了までの所要時間が変動します。アプリの設定内容によって処理可能なレコード数や所要時間は異なる為、レコード件数に上限値は設けておりませんが、実務での運用が可能な範囲でご利用ください。
- ・グルーピング項目やキー項目の変更後にそのままレコード情報を編集すると、プラグインが正しく動作しない可能性があります。スプレッドシート上の既存データを確認し、変更後に設定したグルーピング項目やキー項目の値が、kintone上のレコードと一致しているかを確認してください。
- ・グルーピング項目設定時、文字列フィールドを選択した場合、取込対象シートの判別により多くの時間がかかる場合があります。



<製品に関するお問合せはこちらまで>

キャップクラウド株式会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿3-5-6 キュープラザ新宿三丁目

担当: Focus U(CI事業) サポート担当

メール: support@focus-u.jp 電話: 03-6824-1007

受付時間: 平日9:30~12:00/13:00~17:30(土日・祝日、当社指定休日を除く)